

失敗しないためのビジネスWi-Fi導入法(第1回)

中小企業で広がるオフィスのWi-Fi導入。どうすれば失敗しないのか

2022.07.15



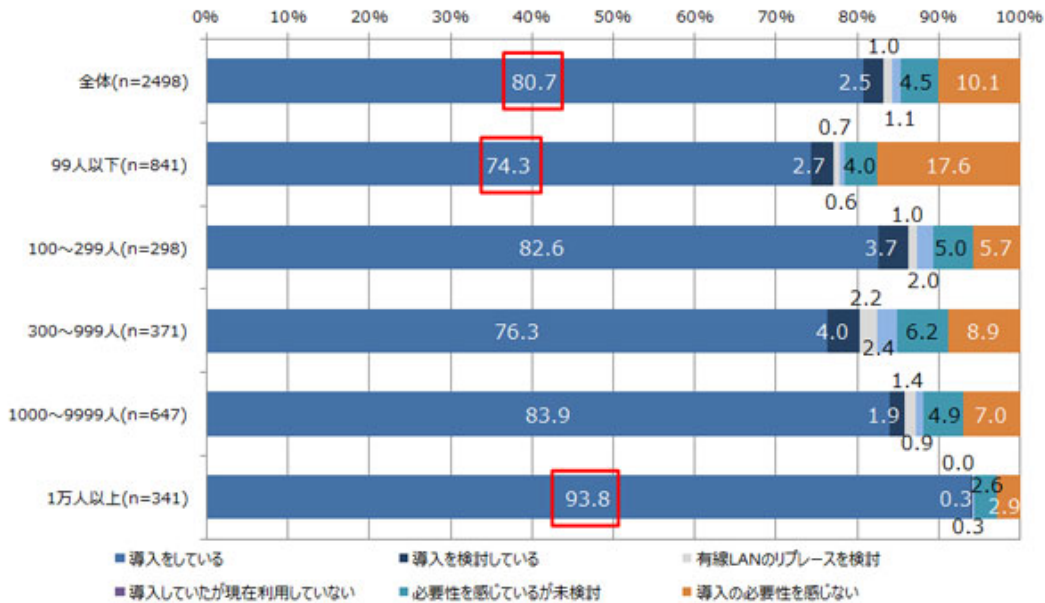
多くの中小企業で導入が進むオフィスWi-Fi。オフィスWi-Fiがあれば、LANケーブルを使用せずにネットワークが利用できるため、オンラインでの会議やフリーアドレスといった新しい働き方を推進することができます。一方で、通信速度の低下やセキュリティ面における課題に悩まされるケースも少なくありません。ここではオフィスのWi-Fi導入に「失敗しない」ためのポイントを紹介します。

オフィスWi-Fiは、中小企業でも当たり前の存在に

飲食店や電車の車内など、至るところでWi-Fiに接続できるようになっていますが、企業においても、オフィス用のオフィスWi-Fiの導入が進んでいるようです。

2021年に実施したBiz Clipの調査では、従業員数が99名以下の中小企業において、74.3%がWi-Fiを導入していると回答。2017年の同調査と比較すると、約14ポイント上昇しています。ビジネスシーンにおけるWi-Fiの導入は年々広がりを見せており、中小企業でも当たり前の存在になりつつあることがわかります。

【図1 無線LAN導入状況(従業員数別)】



オフィスWi-Fiが業務にもたらすメリットとは

オフィスWi-Fiの導入は、日々のオフィス業務にさまざまなメリットをもたらします。

まずは、オフィスレイアウトの幅が広がる点です。従来はLANケーブルやルーター・ハブなど数多くの機器を設置する必要があり、物理的な配線を踏まえたレイアウトを考えなければなりません。

一方、Wi-Fiであれば、物理的な制約を考える必要がなく、オフィスを自由にレイアウトでき、配線工事の手間もかかりません。新しいオフィスのあり方の一つである、フリーアドレス化にも対応が可能です。

また、情報共有がスムーズになり、業務の効率が向上することもWi-Fi導入効果の一つです。例えば、席が離れたメンバーでプロジェクトを推進する場合も、パソコンやタブレットなどを持ち寄るだけで、場所を選ばずに資料共有しながら打ち合わせが可能です。会社を訪れる人に対してもWi-Fiを提供することで、取引先との商談や打ち合わせをより効率的に進めることができるでしょう。

オフィスWi-Fiが原因でトラブルが発生することも… 続きを読む